

令和 6 年度の取組報告

令和 6 年度からの 12 年間における県民の健康増進の総合的な推進を図るための、取り組むべき課題や方向性などを示した「第 3 次三重の健康づくり基本計画」に基づき、各分野における取組を推進しています。

I 生活習慣病対策の推進

がん、糖尿病、循環器病等の生活習慣病に対して、食生活の改善や運動習慣の定着などにより、一次予防（生活習慣を改善して健康を増進し、生活習慣病等の発症を予防すること）と重症化予防に重点を置いた対策に取り組めます。

1 がん対策の推進

(1) がん予防

- ① がん検診受診状況の特徴に合わせた具体的な受診勧奨策を提案するとともに、実施に向けて必要な助言を行い、がん検診の受診勧奨に取り組む市町の受診率向上を支援しました。
- ② 市町および検診機関に対して、がん検診精度管理の状況の調査を実施しました。がん検診を実施している市町の精度管理状況の確認及び集団検診実施機関の精度管理を行い、結果を通知し、改善を促しています。
- ③ 教育関係者およびがん経験者が協力して小学生、中学生、高校生を対象に、がん教育の授業を実施しました。

小学校	6 校、受講者	155 名
中学校	6 校、受講者	668 名
高等学校	3 校、受講者	736 名
- ④ 職域におけるがん検診の受診率向上をめざし、がん検診の受診勧奨の動画を作成し、事業者等へ周知します。

(2) がん医療

- ① がん患者とその家族の意向をふまえ、できるだけ住み慣れた家庭や地域での療養を選択できるよう、入院、外来、在宅に至るまでの緩和ケアの提供や関係機関との切れ目のない連携を進めるために、地域における調整役を担うコーディネーターを養成する研修会を開催します。
- ② 県民一人ひとりが最期まで自分らしく尊厳をもって生きられるよう、人生の最終段階において提供される医療やケアおよび、自分が何を大切にして、どのように生きていきたいのかについて、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）について、県民への啓発および医療・介護の現場における人材育成を行いました。

(3) 患者支援

- ① 三重県がん相談支援センターにおいて、患者・家族に対する相談や交流会を通じた支援を行いました。

相談日時 月～金、第1日曜日、9時～16時
相談方法 面接・電話・FAX・メール等
地域がんサロン活動・サポーター研修会開催

- ② 社会保険労務士によるがん患者就労相談を実施しました。

相談日時 第3火曜日、13時～16時
場所 三重県津庁舎

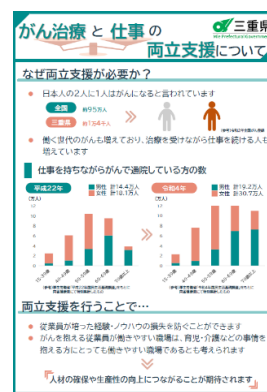
- ③ 事業所に対して、がん患者の就労支援に関する啓発を実施しました。

対象 企業人事・労務担当者等
内容 セミナー・研修会等で就労支援について説明やチラシの配布、アンケートを実施

- ④ がん患者の治療と社会参加を支援し、療養生活の質の維持・向上を図るため、がんの治療による脱毛や乳房の形状の変化等に対するウィッグ等の補正具の購入費用の助成を行いました。

- ⑤ A Y A世代のがん患者の在宅療養に対して支援を行う市町への補助を新たに実施しました。

- ⑥ 妊よう性温存を希望するがん患者に対し、費用の一部を助成しました。



案内チラシ

2 糖尿病対策の推進

(1) 県民への啓発

- ① 世界糖尿病デー及び全国糖尿病週間の周知と、期間を通しての糖尿病予防啓発に取り組みました。
- ② 県民が糖尿病をはじめとする生活習慣病を予防するための正しい知識を身につけ、健康的な食生活の実践ができるようになることを目的に、三重県栄養士会に委託し、「みえの食フォーラム」(参加者 320 名)を実施しました。
- ③ CKD (慢性腎臓病) に対する正しい知識の普及のために、三重 CKD 委員会に委託し、県民公開講座を開催しました。

開催日：令和7年2月23日(日)

場所：鈴鹿市文化会館けやきホール 参加者：約300人

(2) 人材育成

糖尿病性腎症重症化予防プログラム等に基づき、糖尿病の重症化予防に向けた専門的な支援ができる人材を広く育成するため、多職種(保健師、看護師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、臨床検査技師、歯科衛生士等)を対象とした研修を行いました。

開催日：令和6年11月16日(土) 9:15～15:00

参加者：38人

3 循環器病対策の推進

(1) 県民への啓発

① 循環器病（脳卒中、心疾患）の予防、発症初期の適切な対応等について、正しい知識の普及啓発を行うために、リーフレットを作成します。

また、脳卒中による異変に気づき、迅速に救急要請（119番）ができるように「FAST」啓発のためポケットティッシュを作成します。



ポケットティッシュ（案）

② 循環器病などの疾患への対策を周知するため、商業施設で健康啓発イベントを実施しました。イベントでは、循環器病予防のきっかけとなる血圧測定や、医師による健康相談、技師による筋力測定などを実施しました。

(2) 循環器病患者への情報提供・相談支援

① 県内の循環器病に関わる情報提供や相談支援の拠点として、三重大学医学部附属病院の「脳卒中・心臓病等総合支援センター」が、循環器病患者、家族に対する相談窓口の設置やホームページ等を通じた循環器病に関する情報提供や普及啓発に取り組んでいます。

II ライフコースアプローチをふまえた健康づくりの推進

1 栄養・食生活

(1) 県民への啓発

バランスのとれた食事をはじめ、野菜摂取や減塩を推進するため、多様な主体と連携した啓発を行いました。

(2) みえの食フォーラム（三重県栄養改善大会）の開催による啓発

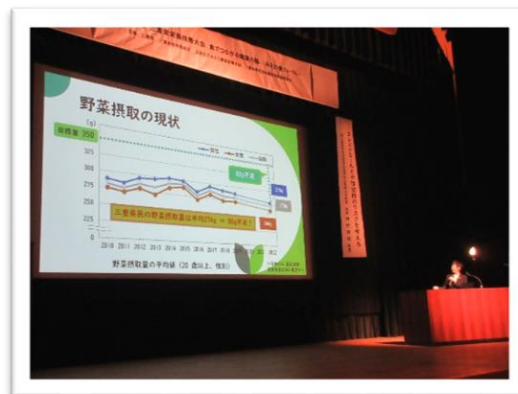
「野菜フル 350 で糖尿病等生活習慣病予防をめざそう」をテーマにみえの食フォーラム（三重県栄養改善大会）を三重県栄養士会に委託して開催し、食育関係者、県民が共に考える場を提供しました。

開催日：令和6年11月8日（金）

場所：津リージョンプラザ お城ホール 参加者：320人



フォーラムチラシ



フォーラム会場の様子

(3) 飲食店等を拠点とした健康づくり普及啓発事業

健康づくり応援の店の登録や更新を行い、食環境の整備を行いました。

(令和6年2月末登録件数 466件)

(4) 研修会の実施

健康増進法による給食施設指導並びに管理者及び従事者を対象とした研修を実施し、給食施設の栄養改善を図りました。

① 給食施設管理者研修会

開催日：令和6年8月20日（火） 参加者（回線数）：322

開催方法：Zoom ウェビナー

② 給食施設従事者研修会

各保健所単位で開催

(5) 栄養成分表示の活用促進事業

健康増進法及び食品表示法に基づき、食品事業者等へは食品の栄養成分表示等の指導を行うとともに、三重県栄養士会に委託し、飲食店等も飲食店を利用する人も健康に配慮できるようになることを目的に、飲食店等におけるニューへの栄養成分表示が積極的に行われるよう支援を行いました。

栄養成分表示実施店舗数：16店

(6) 人材育成

管理栄養士の臨地実習の受入や人材育成を図りました。

養成施設：7校、46人 受け入れ保健所：7か所

2 身体活動・運動

(1) 県民への啓発

・関係機関・団体と連携し、県民健康の日などの機会を捉えて、啓発活動を実施しました。

(2) 市町や関係部局との連携

・市町担当者や保健所担当者に他市町で実施されている好事例の紹介を行い、横展開を図ることで、三重とこわか健康マイレージ事業への参加者の増加につながるよう努めました。

・関係部局担当者と身体活動・運動分野の推進に向け、令和6年度の事業内容や令和7年度に予定している事業について共有を行いました。

3 喫煙

(1) 「たばこの煙の無いお店」促進事業（平成18年3月～認定開始）

三重県食品衛生協会に委託し、終日禁煙を実施している飲食店等を「たばこの煙の無いお店」として認定しています。認定証及びステッカーを発行し、県ホームページにて認定店舗を紹介しています。(令和6年2月末現在 640店舗)

(2) 啓発活動

世界禁煙デー（5月31日）、禁煙週間（世界禁煙デーに続く1週間）にあわせて、県民ホールにて禁煙啓発を実施しました。

(3) 受動喫煙防止対策の推進

改正健康増進法に基づき、望まない受動喫煙が生じないように、県民への啓発や施設管理者への指導・助言等を行いました。

4 飲酒

(1) 普及啓発

- ① アルコール関連問題啓発週間（11月10日から16日まで）等に、飲酒に伴うリスクに関する知識について、健康推進課のホームページへの掲載やX（旧ツイッター）への投稿により、普及啓発を行いました。
- ② 治療拠点機関における県民向けの情報発信、「20歳未満の者の飲酒防止強調月間」（4月）における国税庁が配布する啓発ポスターの県庁、市町、保健所等への掲示や県内の大学にアルコール健康障害に関するリーフレットを配布する等により、普及啓発を行いました。

(2) 相談支援

- ・アルコール関連問題相談拠点であるこころの健康センター及び保健所において、アルコール健康障害に関する相談を実施しました。

5 歯・口腔の健康

(1) 県民への啓発

歯と口腔の健康づくりに対する県民の関心が高まるよう、「歯と口の健康週間」、「いい歯の日」、「8020推進月間」等を中心に、市町、関係機関・団体等と連携し、歯科口腔保健の重要性について広く啓発を行いました。

(2) 地域口腔ケアステーションの活動

各地域口腔ケアステーションにおいて、在宅における歯科保健医療サービスの提供等に関する会議を開催し、地域口腔ケアステーションと地域の医療、介護関係者等との連携体制の充実を図りました。

(3) 三重県障害者歯科センターでの歯科診療の実施

三重県障害者歯科センターにおいて、延べ1,459名の歯科診療を実施し、障がい児・者への安心安全な歯科医療を提供しました。

(4) 歯科保健に関する情報提供

市町の歯科口腔保健に係る取組状況や、県内の歯科口腔保健推進状況を集約し、報告書「三重の歯科保健」として作成、市町、関係機関・団体等に配付しました。

6 休養・睡眠

(1) 県民への啓発

睡眠に対する正しい理解が進むよう、イベント等のあらゆる機会をとらえ、啓発を行いました。

(2) 地域保健と職域保健の連携

労働者が健康で充実した働き方ができる環境整備が進むよう、地域・職域連携推進協議会等において三重とこわか健康経営カンパニー認定制度等の事業の周知を図り、意見交換を行いました。

III 社会環境づくりの推進

1 社会環境づくり

(1) 三重とこわか県民健康会議

人生 100 年時代の到来を見据え、「誰もが健康的に暮らせる“とこわか三重”」の実現に向け、企業、関係機関・団体、市町等が一体となって、県民自らが主体的に取り組む健康づくりや企業における健康経営の取組を推進しています。

- ・ 広報誌の発行

三重とこわか健康経営大賞受賞企業の取組を紹介する広報誌「とこわか県民健康 news」を発行し、103 名の構成員を中心に配布するとともに、県ホームページに掲載しました。

- ・ 「三重とこわか健康経営大賞」受賞企業の取組紹介動画の発信

「三重とこわか健康経営大賞 2024」受賞企業の取組について、各企業 3～5 分程度の紹介動画を作成し、三重県ホームページ上で公開しました。

(2) 三重とこわか健康マイレージ事業

県民の健康寿命の延伸をめざし、県民が主体的に健康づくりに取り組むことができるよう、社会全体でその取組を応援する環境づくりを進めるため、市町や企業と連携し、「三重とこわか健康マイレージ事業」を実施しました。

（取組市町 29 市町（平成 31 年 1 月 4 日～）
マイレージ特典協力店 939 店舗（令和 7 年 2 月 1 日現在）
マイレージ取組協力事業所 160 か所（ ” ” ）

- ・ 周知啓発

県立図書館や県民ホールにおいて啓発活動を行いました。

- ・ 地産地消と連携した取組

県民の皆さんが三重県産品を食べて元気になれるよう、地産地消と連携した健康づくりの取組を行っています。

令和7年2月19日、マックスバリュ東海株式会社様より、三重県にゆかりのある商品で構成される「三重県ありがとう」キャンペーン対象商品の売り上げの一部を寄附いただき、贈呈式を行いました。



贈呈式の様子



地産地消 × 健康づくり

三重を元気に、明るく楽しく笑顔に！



チラシ



三重県健康づくり応援サイト

(3) 三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）

多くの県民の皆さんが一日の大半を過ごす職場での健康づくりが重要であることから、「三重とこわか健康経営カンパニー（ホワイトみえ）」認定制度を設けています。

- ・「三重とこわか健康経営カンパニー2024」の認定

令和6年7月、289企業を認定し、県ホームページへの掲載等の情報提供を行いました。また、認定証を交付するとともに、名刺やホームページ等で活用いただける認定マークを提供しました。

- ・「三重とこわか健康経営大賞2024」の表彰及び

「三重とこわか健康経営殿堂入りカンパニー」の認定

令和6年9月、289の認定企業の中から応募いただいた20企業のうち、三重とこわか県民健康会議幹事会等による審査を経て、特に優れた健康経営を実践している4企業を表彰しました。また、「三重とこわか健康経営大賞」におけるすべての種類の賞を受賞した企業のうち、特に優れた健康経営を実践していると認められる3企業を、「三重とこわか健康経営殿堂入りカンパニー」として認定しました。



○三重とこわか健康経営カンパニー認定企業数の推移

年度	大規模法人	中小規模法人	計
2020	50	77	127
2021	83	108	191
2022	105	131	236
2023	89	150	239
2024	104	185	289

・「三重とこわか健康経営促進補助金」の交付

企業における健康経営の取組を促進するインセンティブとして、認定企業に対して、健康経営を加速させる健康づくりの取組に要する経費の一部を助成しました。

(4) 誰もが自然に健康になれる環境づくりの推進

自ら健康づくりに積極的に取り組む人だけでなく、健康に関心の薄い人を含む、幅広い層に対してアプローチを行うことが重要であるため、県民が無理なく自然に健康な行動を取ることができるような環境整備として、「自然に健康になれる環境づくり」に取り組んでいます。

- ・産学官等で構成する「みえ自然に健康になれる食環境づくり推進会議」を、準備会を含めて4回開催し、産学官等が連携して取り組む食環境づくり推進事業を令和7年度から本格化するための検討を行いました。
- ・減塩等の取組について、県内の食品関連事業者へのヒアリング調査等による実態把握や、先進企業の視察等を行いました。

2 社会とのつながり・こころの健康の維持向上

(1) 社会とのつながり

① 県民への啓発

- ・「みえの食フォーラム」の参加者に、「花とみどりの三重づくり」に関する啓発物品を配布し、さまざまな社会活動への参加を促進しました。
- ・「三重とこわか健康経営カンパニー2024」認定企業に対し、さまざまな社会活動への参加が結果的に健康増進に繋がることや、「花とみどりの三重づくり」に関するイベント情報等を周知し、さまざまな社会活動への参加を促進しました。

(2) 自殺対策の推進

① 普及啓発

- ・ 自殺予防週間（9月10日～16日）及び自殺対策強化月間（3月）にあわせて、県立図書館、本庁舎等で自殺の現状についてのポスター展示やパンフレットの配布等の啓発を行いました。

- ・ 自殺予防週間（9月10日～16日）及び自殺対策強化月間にあわせて、商業施設等で、相談窓口を記載したチラシを配布しました。また、ラジオや X（旧 Twitter）、フリーペーパー等を活用して、相談窓口の周知を行いました。
- ・ また、県内の市町、保健所が行う自殺対策事業に関する情報をまとめ、ホームページにて広報しました。
- ・ インターネット検索エンジンで「死にたい」等の自殺に関連する用語を検索した者に対し、相談窓口の Web ページを案内する検索連動型広告を活用し、三重県自殺対策推進センター（こころの健康センター）等の相談窓口に効果的につながる啓発を実施しました。
- ・ 自殺予防やストレス対処に関する正しい知識の普及のため、県民公開講座を開催しました。



自殺予防週間の啓発

②相談支援事業

- ・ 三重県自殺対策推進センターで「自殺予防・自死遺族専門相談」を実施しました。
- ・ 「自死予防・自死遺族電話相談」をフリーダイヤルで実施するとともに、学校や仕事で相談しづらい方も多いためと考えられることから夜間・休日自殺予防電話相談を実施しました。

③若年層の自殺対策（自殺予防教育の推進）

- ・ 児童・生徒・学生への出前授業を実施するとともに、保健医療及び教育関係者等を対象とした研修会を開催しました。
- ・ 児童・生徒の自殺予防のため、精神医療に係る専門的なアドバイザーを学校等に派遣しました。
- ・ 若者に身近なコミュニケーションツールである SNS（LINE）を活用した相談窓口「こころつながり SNS 相談みえ」を実施しました。
- ・ 若者に対するこころの健康づくりセミナーや啓発活動を実施するとともに、令和4年度に若者の視点を反映して作成した自殺予防普及啓発動画を YouTube 広告にて配信しました。

④うつ病対策事業

自殺予防について、かかりつけ医等の関心と知識を深めるため、「かかりつけ医等うつ病対応力向上研修」を実施しました。

⑤自殺未遂者支援事業

医療従事者等の自殺未遂者への支援に対する理解を深めるため、「自殺未遂者支援向上研修」を実施しました。

⑥自死遺族支援

- ・ 自死遺族の集い「わかちあいの会」を開催しました。（奇数月の第4土曜日）
- ・ 自死遺族について適切な理解と望ましい対応や心がけについて学ぶことを目的に「自死遺族支援者研修」を実施しました。

⑦関係機関・団体との連携

- ・ 26市町・14団体が「地域自殺対策強化交付金」を活用し、地域の実情に応じた自殺対策に取り組みました。
- ・ 市町・保健所の自殺対策担当者を対象とした「こころの健康づくり担当者会議」を開催しました。
- ・ 県内全ての市町、保健所、関係機関を対象とした「こころの健康づくりネットワーク会議」を開催しました。

⑧進捗管理等

- ・ 三重県公衆衛生審議会自殺対策推進部会及び三重県自殺対策推進会議等において、「第4次三重県自殺対策行動計画」の進捗管理を行うとともに、自殺対策の充実に向けた協議を行いました。